

## 第11回 倫理委員会議事要旨

日時：平成23年2月24日(木) 17:30～19:00

場所：あべのメディクス6階会議室

出席者：半田、手嶋、手塚、竹内、中村、北川、三浦、三木、森田、前田、秋原各委員

審議事項は以下のとおり

課題番号	課題名	申請者			結果
1968	大腸癌におけるオキサリプラチンの末梢神経障害に対する漢方薬：牛車腎気丸の有用性に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較検証試験(臨床第Ⅲ相試験)	腫瘍外科学	教授	平川 弘聖	修正承認
1969	stageⅡ/stageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法の認容性に関する検討	腫瘍外科学	教授	平川 弘聖	修正承認
1970	抗TNF製剤一时无効・二次無効の関節リウマチ患者に対してのトシリズマブ(アクテムラ)治療における寛解率の比較検討	代謝内分泌病態内科学	講師	後藤 仁志	修正承認
1971	炭酸ランタンの骨代謝改善効果に関する検討	代謝内分泌病態内科学	教授	稲葉 雅章	修正承認
1972	Endobronchial Watanabe spigot を用いた気管支充填術	呼吸器外科学	講師	西山 典利	保留
1973	既存利尿薬投与でも過剰な体液貯留が残存する、腎機能異常を合併したうっ血性心不全患者に対するトルバプタン追加投与による臨床的有用性の検討	循環器病態内科学	教授	葭山 稔	修正承認
1974	漢方方剤「抑肝散」によるアルツハイマー病BPSD軽減効果の検証-プラセボ対照無作為化臨床第Ⅱ相比較試験	老年科・神経内科	講師	嶋田 裕之	修正承認
1975	クローン病に対するアダリムマブと免疫調節剤併用療法の検討 Deep Remission of ImmunoModulator and Adalimumab combination therapy for Crohn's disease:(DIAMOND study)	消化器内科	講師	渡辺 憲治	修正承認
1976	活動期潰瘍性大腸炎に対する白血球除去療法(LCAP)早期導入に関する検討	消化器内科	講師	渡辺 憲治	修正承認
1978	日本におけるHPVワクチンの細胞診異常予防効果に関する疫学研究	女性病態医学	講師	市村 友季	修正承認
1979	食欲・食行動に関する質問紙の開発と認知と情動の相互関係	運動生体医学	准教授	吉川 貴仁	修正承認
1980	神経芽腫臨床試験不参加症例研究	小児科	病院講師	時政 定雄	承認

課題番号	課題名	申請者			結果
1981	高用量ロスバスタチンによる積極的脂質低下療法の内皮依存性血管拡張反応改善効果に関する検討	循環器病態内科学	教授	葭山 稔	修正承認
1982	日本人における自由行動下血圧追跡研究 (Japan Ambulatory Blood Pressure Prospective Study: JAMP研究)	代謝内分泌病態内科学・腎臓病態内科学	教授	稲葉 雅章	承認
1983	疲労想起課題による疲労認知機構の解明	システム神経科学	講師	田中 雅彰	承認
1984	NAFLD患者の胸やけ症状と胃粘膜組織	消化器内科学	准教授	富永 和作	保留
1985	慢性炎症性脱髄性多発神経炎における免疫グロブリン大量療法の有効性に関する因子の解析研究	老年科・神経内科	講師	嶋田 裕之	修正承認
1986	エリスロポエチン製剤の個別化適正投与のためのゲノム薬理学的研究	循環器病態内科学	教授	葭山 稔	保留
1987	慢性炎症性脱髄性多発神経炎におけるTAG-1遺伝子のSNP解析	老年科・神経内科	講師	嶋田 裕之	修正承認
一部変更申請					
1235	研究参加施設に新たに発生する全AML、高リスクMDS症例を対象とした5年生存率に関する観察研究(前向きコホートスタディー)- JALSG AML/MDS-HR Cohort Study(JALSG-CS)-07-	血液腫瘍制御学	准教授	山根 孝久	承認
1469	潰瘍性大腸炎長期経過例へのサーベイランスシステムの確立狙撃生検とStep biopsyの有用性に関する比較検討	消化器内科学	講師	渡辺 憲治	承認
1637	クロスリンクポリエチレンライナー (Longevity) の耐摩耗性に関する研究	整形外科	講師	岩城 啓好	承認
1904	新規aromataseの分子イメージングによる情動・疲労に関する研究	システム神経科学	講師	田中 雅彰	承認